

これからの図書館サービスのあり方懇談会「ご意見シート」補足

懇談会委員提供資料

意見ではありませんが、人気がある図書館として、ネットで紹介されていた例です。  
場所柄もあるので、一概にどこでも通用するわけではありませんが、方法として、参考まで。

「意外な使い道で人気のある都内の図書館」

千代田区立日比谷図書文化館

さまざまなテーマで講座やワークショップを開催し、人気  
・ホールや会議室で「スキルアップ」「江戸・東京」「芸術」「センスアップ」「本」などをテーマとした講座、ワークショップを開催。  
美術品（最近では、浮世絵や衣装）の展示  
22時まで開館し、夕方以降はビジネスマンの利用増加

千代田区立千代田図書館

ビジネス書を細かく分類し、目当ての本がとても探しやすい。  
知りたい情報を一緒に探してくれる「レファレンスサービス」が便利  
図書館の専門員がさまざまな資料、情報源を使って検索してくれる。資料、情報の探し方についても教えてくれる。

北区中央図書館

日本初の技術で、休館日が減り、利用できる日が増えて、便利に。  
・蔵書管理にICチップと磁気テープをいっしょにしたコンビタグを日本ではじめて採用、40～50冊の本を3、4秒で読み込むことができるので、休館日を減らすことが可能になった。  
館内は、北欧の椅子などを約40種そろえ、おしゃれな空間に。  
・カフェ気分でゆったり、をテーマに長居してもらうためのサービス。

アカデミーヒルズ六本木ライブラリー（入会金、月会費あり）

集中しやすい環境、他のメンバーと交流できるスペースを完備。  
・一人分のスペースが大きめ、読書とは別に交流の場としてカフェスペース。  
書籍についての解説や、読書の魅力や新たな視点を提供するブックトークを開催。  
・リアルな情報や読書をするときの視点を教えてくれるブックトークで、いろいろな知識や生の情報を得ることができる。